

2016年8月20日(土)  
夏休み朗読会「朗読だから面白い！真夏の怪談話」

視覚障害者を中心とした朗読グループ「こうばこの会」出演の好評のイベントを今年も開催いたしました。午前中は嵐のような悪天候であったにもかかわらず、たくさんの方にご参加いただきました。電気を消した真っ暗な会場から「かごめ かごめ」のメロディーが流れ出し、ゆっくりと音が消え入ると小さな灯かりがともされて、物語が始まりました…。



暗闇の中でスタンドの灯りを頼りに語られる朗読は、臨場感たっぷりです。

小泉八雲の古典「ムジナ」から、現代の怪談「メリーさんの電話」(斉藤洋／作)など、恐怖のお話だけでなく、明るくした会場で読まれる絵本「えんまとおっかさん」(内田麟太郎／作・山本孝／絵)のような恐ろしい世界なのに可笑しくてたまらない楽しいお話など、時代も設定も様々な変化に富んだ演目を取り揃えました。

映像で感じる怖さとは異なり、朗読は読み手の声から想像をかき立てます。怖い情景はより怖く、読み手の個性と聴き手の想像力が、より奥深い物語の世界を創り出します。「こわくて、ぞくっとした」という子どもから、「声に表情があり、聞きほれました。」という大人まで、たくさんの方に声の持つ力と魅力を堪能していただけたようです。

夏しか味わえない少し怖いひととき。部屋の電気が点くと「現実に戻って来た」とホッとした方もいらしたかもしれません。

また次の夏も皆様をお待ちしております。